

危機管理に関する職員研修：不審者対応訓練を行いました。12月4日(金)

令和2年12月16日(水) 篠原校長

職員研修では、安心・安全な学校づくりのために、不審者対応訓練や緊急対応訓練等を年間数回計画して実施しています。12月4日(金)に、早良警察署生活安全課の担当者に来ていただき、不審者対応訓練の様子を見ていただきました。不審者が刃物を持っている場合もあるので、被害にあわないように十分に距離をとって対応することや、さすまたの使用では、足元(膝関節)をねらって、動きを封じることが目的とすること等を解説していただきました。いつ何が起こるかわかりません。様々な事態を想定しながら、訓練をして評価することが大事ですね。

不審者対応研修会 R2.12.4 プレイルーム

1 来訪者への対応要領

○ 不審者か否かの判断

言動、態度、持ち物から判断
 まず声をかける等して、反応を見る
 「何か用事ですか」「どちらから来られましたか」
 ☆ 不審だと感じたら、児童生徒に近づかせない

2 110番通報

- ① 落ち着いて通報する
- ② 聞かれたことを答える
- ③ 発生場所は〇〇市や△△町から正確に伝える
- ④ 住所がわからない場合は、
交差点名や信号番号を伝える

私は誰

どんな事件・事故か

いつごろ

どこで

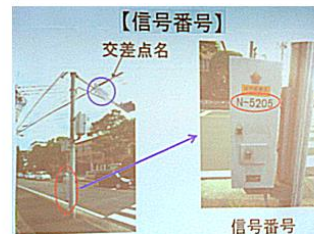
犯人の特徴等

今どうなっているか



住所や電話番号を記載しておく

住所の特定：信号機番号、
電柱のNTTや九電のプレート番号



コモンホールで、不審者を押さええています。
警察が来るまでどれくらいかかりますか?





**さすまた
の使用**

捕まえる（確保する）
ことが目的ではない

移動（進行）を妨げる・遅らせる、
動きを止めることが目的。



不審者から距離をとって、
危険を回避しながら、大人
数で協力して、立ち向かう。

不審者に、さすまたをつか
まれないように、足元（膝
関節）をねらって押す。